



# この指新聞

メールアドレス

この指とまれHP



《法人本部・デイグループぱーく・相談支援にじ》

東京都東大和市清水3丁目 855 番地 2 Tel 042-564-2883

《デイグループほっと・グループホームりずむ・りずむショートステイ》

東京都東大和市清水3丁目 785 番地 2 Tel 042-564-3110

《共通》メール mail@konoyubitomare.or.jp Fax 042-564-2873

## 平成30年のご報告

理事長 鈴木真千子

日頃より、ご支援ご協力をいただき有難うございます。各事業、無事一年終える事ができ、心からほっとしています。

昨年は念願の新事業所が建ち、待ち望んでいた「放課後等デイサービスの増設」も叶い、新しい利用者の方も増え、期待に満ちた4月を迎えるはずでした。ところが、3年に一度の報酬改定により、「放課後等デイサービス事業」は「大幅な報酬減」という荒海に突如として飲まれました。

まず、子ども達が「指標」で判定され「重度」「軽度」に仕分けられました。そして、利用児童のうち、「重度」の割合が50%を超えるか否かで、「事業所」ごとに報酬が決定されるという事になりました。正式な説明・通知が3月末、施行は4月からとなり、猶予期間が全くなかったため、「デイグループほっと」「デイグループぱーく」では、しばらくの間「スタッフの削減」という形でしか対応できませんでした。

“障害があるからこそ豊かな放課後を”と活動を始めたのは平成8年4月でした。当法人の理念『一人一人の気持ちを大切に、個性を尊重し、自分を表現できるよう援助し支援する』は、放課後活動の経験から掲げています。

「放課後等デイサービス事業」には、小学1年生から高校3年生までの子ども達が通ってきています。遊びも対応も、全員が異なります。そして、一人一人の成長のための「それぞれに沿った働きかけ」が心に届いたとき、子ども達は大きく成長します。スタッフは、そこを目指して日々活動しています。

そのような「働きかけ」のためには、新しい指導員の育成や、積極的な外部研修の参加など、「スタッフの技量」を上げていかなければなりません。そして、「働きかけ」や「技量向上」のためには、「基準より多いスタッフ配置」が必要です。現状の制度の中で、その機会が減ってしまう事を、何より危惧しています。

次期報酬改定は、2021年です。厚生労働省も改善策を考えているようですが、私たちの属する「障害児放課後グループ連絡会・東京（放課後連・東京）」でも、色々な働きかけをし、改善を模索しています。

「放課後等デイサービス事業」の危機は法人全体の危機でもあります。利用者の方々をはじめ、関係各所の方々からのご理解ご支援をお願いします。

どんな時も、私たちは「利用者の方々」の笑顔を大切に、歩んでいきます。

## 放課後等デイサービス事業

### ☼ デイグループほっと ☼

各放課後等デイ事業所の正念場を迎えている今年度ですが、子ども達は変わらず泣いたり笑ったりしながら過ごしています。

「ほっと」には主に、下校時間の遅い子たちが集っています。以前は、短い遊びの時間を惜しむように「公園行きたい！」に飛び出していった子達も、最近は室内でじっくりと遊ぶ事が増えてきています。オセロやウノ・トランプ・坊主めくりに興じたり、学校であった事を友達同士で話して笑いあったりと、中高生らしい落ち着いた雰囲気になってきました。もちろん衝突する事もあります。たとえばウノをする際は、「英語上がりなし」「ドロー2返し」などローカルルールが多くあるため、それぞれが自分の有利になるような解釈をし、言い争いになっていました。そこで、皆でほっとのルールを少しずつ考え、折り合いをつけられるようにしました。

一方、活動時間がたっぷり取れる夏休みは、近場の公園やアスレチックに行ったり、調理に取り組んだりしました。子ども達は、珍しい遊具や焼きそばのソースの匂いに、きらきらと顔を輝かせていました。長時間を共有した事で、スタッフとの関係性が確実に深まったという実感もあります。課題もたくさん出ましたが、それも含め充実した期間を過ごす事ができました。(佐藤森)

### ☼ デイグループぱーく ☼

開所して1年が過ぎ、新しい場所に興味津々だった子ども達も、場所やルールにも慣れスタッフ共々順調に軌道に乗り、流れができた1年でした。おもに、小学生の子どもが多いぱーくでは、活気にあふれ入室するなり、おもちゃをいっぱいに広げ好きな遊びを始めています。泣いたり笑ったりしながら遊びを通し友達との関わりを持てるようになりました。



中高生の子ども達が来る日には、友達やスタッフとトランプやウノ、坊主めくりをしたりおしゃべりを楽しんだりしています。カードゲームは、スタッフが本気でやっても負けてしまうときもあり、子ども達との関係を深められる楽しい時間になっています。

2つの事業所になり初めての夏休みには、近隣の防災館や資料館、アスレチックなどに車で外出したり、おやつ作りとして、パンケーキにフルーツやカラースプレー、ホイップクリームなどのデコレーションをしてオリジナルなパンケーキを作りました。色々なデコレーションの形がありおいしそうに食べているのが印象的でした。

また、終わりの会の絵本の読み聞かせでは、楽しんで聞いてくれる子ども達も増え、最近では、「今日、僕が読みたい。」と言って自分から前に出て読んでくれる子もあり、1年間の成長を感じました。あっという間の1年でしたが、大きな事故もなく子ども達がみんな元気に楽しく過ごせ大変嬉しく思いました。今年もお世話になりありがとうございました。(木原則子)

## 指定特定相談事業・指定障害児相談支援事業

### 相談支援にし ☁️🌈 (平成27年から福祉支援の受給決定に支援計画作成が必要となりました)

契約者数は児童26名、成人19名、合計45名(昨年は32名)となりました。相談支援専門員2名が揃うのが週1日なので、兼任では目一杯という所ですが、まだ、丁寧に対応できる人数です。特に在宅の方や初めて福祉の支援を受ける方には、ご本人の気持ちを伺い適切な支援が可能と思われる事業所をご紹介し一緒に考えていきます。継続の方には今の支援がふさわしいか検討し考えます。又、計画作成に際し地域全体の福祉を考える機会を得る事が出来、毎日が勉強でやりがいのある仕事です。(鈴木真千子)

## 共同生活援助事業・短期入所事業

### 🏠グループホームりずむ・りずむショートステイ🏠

昨年に引き続き行っている毎日の夕食作りなどは、すっかり定着し出来るようになりました。地域で安心して暮らせるよう、今年も地域の夏祭りへ参加し、地域住民の方々との会話が生まれる一面も見られました。今年の大きな余暇活動としては、初の試みで利用者さんが主体となり外出のプランを立て、交通手段や時間等を全て調べ、江ノ島・鎌倉観光に出かけました。みんなで立てた予定通りに楽しく過ごすことが出来ました。常に課題としてあがる心のケアについては、毎月のスタッフミーティングにて共通の意識を確認しあい、支援を行っています。

ショートステイは、利用にも慣れた方の連泊利用が増えてきました。それにより、グループホーム利用者さんと過ごす時間も長くなり、良い関係が築けるようになりました。(高谷明美)

《以下二事業は、NPO法人リサイクルショップ「らら」の補助を受け運営しています》

### 青年活動(高校生以上)

#### さんなくらぶ

親の会が主催している活動です。職員不足等の事情により、今年度より月1回の活動となりました。

4月に、利用者の方の案を集めて作成した年間予定を元に活動をしてきました。初めての試みでしたが、「秩父」や「井の頭公園」等、今まで行った事のない案も挙がり、今までにない主体的な活動ができています。

毎年お伝えしておりますが、青年期の余暇活動への支援は、多くの課題を抱えています。各地で活動をしているグループがありますが、保護者の方々や各事業所の工夫と努力で、なんとか続けている場合がほとんどです。前述の通り、さんなくらぶも職員不足に悩みを支援しております。ヘルパーやガイドヘルパーの資格を持っている方を募集しています。ぜひご連絡ください！(佐藤森)



### 個別音楽療法 ♪

土曜日の午後に行っています。今年度は、1人卒業、1人新しく参加で合計人数は変わらず7人の方が個別音楽療法に参加されました。担当スタッフの退任、交代もあり、この人数がぎりぎりのところでした。それぞれ、自分にあったプログラムを楽しみ、成長を感じる一年でした。(鈴木真千子)

### 賛助団体

#### NPO 法人リサイクルショップ「らら」



同じ場所で20年営業していると、顔なじみのお客様、品物を提供して下さる方が多くなってきました。

それらは、「らら」の大切な基盤ですが、世の中の変化は急なもので、売り上げは年々厳しい状態になって来ています。なんとか手を打とうと、今年から年賀状を欠礼させて頂く事にしました。どうぞ悪しからず、ご理解下さい。

今年は南街公民館のインタビューを受けて、「ハロー公民館」の記事にして頂きました。これをお読みになった方々との新たな「出会い」を期待しています。

この一年も「らら」の持ち味である“和気あいあい”で、ボランティア一同頑張ってきました。これからも相変わらずよろしくお願い致します。(小林みゆき)

## 福祉祭



平成 30 年 11 月 11 日（日曜日）に東大和市役所にて東大和市社会福祉協議会主催の《第 41 回東大和市福祉祭》が開催され、今年も皆様のご協力のもと、参加することが出来ました。

この指とまれのブースでは、リサイクルショップららの支援を受け、主に古着を販売をしました。天候にも恵まれたこの日の午前中は大盛況でした。午後には客足が少なくなってしまいましたが、終わってみると

売り上げは 126,900 円（経費込）と例年通りで安心しました。

前日準備に 9 名、当日 37 名、翌日片づけ 7 名もの方にボランティアとしてご参加いただきました。

ご多忙の中準備や販売・片付け等ご協力いただいた皆様、また、この指とまれのブースに足を運んで下さった皆様誠にありがとうございました。

## 会の行事

現在この指とまれでは法人全体の行事として夏のワークショップ、3月に卒業と成人を祝う会を行っています。

今年度は8月4日土曜日に東大和市中心公民館にて東村山の『ドーン！稲妻ボンバーズ』を招いて和太鼓ワークショップを行いました。

愉快的劇を交えた迫力ある演奏や、デスタッフの佐藤を中心としたワークショップは大いに盛り上がり、子どもから大人まで終始楽しい時間を過ごすことが出来ました。



### 寄附金のお願い

日頃より、この指とまれの活動にご支援いただきありがとうございます。

この指とまれの、活動の充実と運営のために、皆様からのご寄附を募集しております。

特に今年は報酬改定による、収入減の為、寄付金を運営にまわらせていただいています。

多くの方にご寄附をいただき、平成 28 年 9 月、「寄附金特別控除法人」に認定されました。皆様のご寄附に対し寄附された方が、税金の控除を受けることができます。

ご寄附の際には「寄附申込書」が必要となります。ホームページから印刷していただくか、ご連絡をいただければ、送付させていただきます。お手数をおかけして申し訳ありませんが、「寄附申込書」にご記入の上郵送又は FAX でご送付ください。

よろしくお願いいたします。

※住所・連絡先は 1 ページ目に載っています。

<振り込み先> 郵便振替口座 00100-9-387225 社会福祉法人この指とまれ

三井住友銀行 東大和支店 普通 口座番号 4263883 社会福祉法人この指とまれ

※現金でも承っております。

### ●編集後記●

早いもので、今年もこの時期がやってきました！機関紙委員発足後 3 年目のこの指とまれ新聞です。例年通り、各事業の職員に文章の協力を得て、予定通りに作成することが出来ました。3 年目にもなると、段取りがだいぶスムーズになり、より良い機関紙作りが出来ているように思います。この機関紙を見て頂くと、この指とまれの今年一年総まとめが出来るので、じっくり読んでいただけたら幸いです！（高笠歩美、柳つぐみ）